

エンジニアパーク

Engineer Ring Park

私は、室蘭工業大学大学院修了後、1996 年(平成 8 年)に、オリエンタル建設(現オリエンタル白石)に入社しました。入社後、工事に配属になり、関東地方の PC 橋施工に従事しました。

4 年目に技術部へ配属となり、主に新東名高速道路の橋梁設計を担当しました。この橋梁は代表橋長 833.0m、上下線・ランプ線を有する日本最大規模の押出し架設工法を用いた橋梁であり、設計行為の結果をこの目で直接見て体験できる設計・施工の醍醐味を 3 年間、思う存分味わいました。

技術士の取得は、2006 年(平成 17 年度)に 4 回目の受験で取得し、技術者としての自信が大分ついてきた頃、転職が訪れ、学生時代から長年の夢であった海外赴任となりました。アラブ首長国連邦・ドバイ首長国にて、世界最大の人工島・パームジュメイラ内に延長約 5.4km の跨座式モノレールを建設する『24 時間営業』の超突貫工事であり、私の担当は主に PC 軌道桁の架設作業でした。普段でも気温が 40℃を超える砂漠気候の過酷な環境の中で、肉体的、精神的にもハードな業務に加え、自分の英語力の無さ、相手国の常識、国民性や宗教の異なる人間同士で仕事を行うことの難しさや、日本ではなかなか経験できない大現場のマネジメントの大変さを痛感した現場でした。

帰国後、2010 年(平成 22 年)、入社以来初めて業務で北海道に戻り、約 10 年間、技術営業として従事し、この時に北海道本部の会友として、防災委員会・都市部会の活動に参加することになりました。現在は、東京支店営業部に異動となり、委員会活動では全く貢献できていませんが、北海道との関わりは今後も続くので、今までの経験を糧に、今後も技術営業に邁進していきたいと思っています。

高澤 昌憲 (たかざわ まさのり)

●建設部門
(鋼構造及びコンクリート)

勤務先

オリエンタル白石株式会社



→次号は、青木正行さん(建設部門)

私は室蘭市出身で、大学から札幌市で暮らし始め、大学院修了後、北海道近代設計(旧近代設計札幌支社)に入社し 15 年が経ちました。

私のコンサル人生は、入社 1 年目に電線共同溝詳細設計で計画から作図までを自らの手で進めるという新卒にはなかなか難しいミッションを頂戴したことが始まりです。その後は、東日本大震災の復興関連業務が増えたタイミングで橋梁設計業務に携わることとなり、それ以降は橋梁関連業務が私のメイン業務となっております。直近では、3 年ほど地元の室蘭に戻り、高速道路会社で橋梁耐震補強工事の施工管理業務に従事しておりました。振り返ると、設計から施工現場までを経験する機会を頂き、貴重な経験を積ませて頂いております。

技術士 2 次試験は、2022 年(令和 4 年)に合格することができました。入社歓迎会で「早く技術士を取って会社に貢献します！」と意気込んで挨拶をしてから十数年経ってしまいました。何とか合格することができました。これまでは仕事が忙しいことを理由に試験から逃げていましたが、①施工管理業務で札幌を離れ「すすきの散歩」ができなくなり時間ができた、②年齢的にもそろそろと自覚、③会社からの見えない圧力、以上の 3 点から本格的に勉強を始めました。社内の多くの技術士の方にご指導頂き、奇跡的に 2 回目で筆記試験を通過できました。口頭試験前は緊張から胃薬を飲む回数が増え、試験後はモヤモヤした気持ちで 3 月を待つという、メンタルが安定しない経験も良い思い出です。

合格後に社内の技術士の方より頂いた「今後は技術士としての見識を持った仕事が行われ、期待される」という言葉を肝に銘じ、微力ながらインフラ整備に貢献できればと考えております。

黒澤 彰信 (くろさわ あきのぶ)

●建設部門
(鋼構造及びコンクリート)

勤務先

株式会社北海道近代設計



→次号は、吉村 岳さん(建設部門)